

3章 読解力

年 組 番 氏名

今回の授業の位置づけ

- 「課題発見」は探究活動のスタートラインである。
 - ・「課題発見」を行う際には、「読解力」が必要である。
 - ・「読解力」は探究活動全般に関わる能力である。
- 「課題発見」、「データ分析」などの過程では学術的文章を検証していくこととなる。
 - ・検証するときには、「クリティカルシンキング（批判的思考）」が必要である。
 - ・「クリティカルシンキング」の根幹を担うのも「読解力」である。

→「読解力」を身につけよう！

ねらい

- 「クリティカルシンキング」はどのようなものか理解する。
- 文章を「納得できるものであるか」という観点から読解する。

→「クリティカルシンキング」をしてみよう！
- 「隠れた前提」を意識し、読み手が納得できる文章を書く習慣をつける。

1. クリティカルシンキングとは？

課題 1 (30分)

(1) ねらい

- クリティカルシンキングの意味を理解する。
- 自分自身のクリティカルシンキングの特性について自己判断する。

(2) 内容（取り組むこと）

- | | | |
|---|-------------------------|------------------------------|
| 1 | <div>1</div> を読む。 | →【クリティカルシンキングを知る】 |
| 2 | <div>ワーク 1</div> に取り組む。 | →【自分自身のクリティカルシンキングの特性について知る】 |
| 3 | <div>2</div> を読み確認する。 | →【ワーク 1 の診断結果を確認する】 |

1

ある日の新聞に次のような記事がありました。

K大学のY教授の研究グループは、血液型がA型である人を対象に、一人ひとりが神経質な人かどうかを判定する心理検査を行った。その結果、80%の人が神経質だと判定された。

この文章を読んだみなさんは、どう感じますか。「A型の人は神経質なんだな」とか「やっぱり、血液型と性格って関連があるのね」と感じた人は要注意です。「A型の人は神経質だ」と結論するには、「A型が、他の血液型と比べて、神経質な傾向が強い」ことがわかって初めて言えるはずなのに、ここではそうした比較をしていないからです。他の血液型で調査をしても同じくらいの割合で神経質だと判断されるかもしれません。もしかしたら、「神経質だと判定された人が80%の人もいた」のは、「その心理検査が神経質だという判定結果になりやすいものだった」という可能性だって考えられるのです。

この新聞記事の例のような情報をうのみにしないためには、いろいろな可能性を注意深く考えることです。このように、何事も無批判に信じ込んでしまうのではなく、問題点を探し出して批評し、判断することを「クリティカルシンキング」と言います（道田・宮元・秋月、1999）。日本語では、「批判的思考」と呼びます。「批判」と聞くと、何だかものものしく感じるかもしれません。でも、決して「他者の間違いを見つけてやろう」とあら探しをするようなものではありません。「じっくりと物事を考える」と、「すぐにうのみにせずに、一歩立ち止まった自分の頭で考えてみる」ことを意味しているのです。

『大学生のためのリサーチリテラシー入門』（山田剛史、林創著 ミネルヴァ書房 2011 p5）

ワーク1

クリティカルシンキング・チェック

それぞれ、あてはまる数字に○をつけてください。

※とても当てはまる「5」 まったく当てはまらない「1」 どちらともいえない「3」

①普通の人気が気にもかけないようなことに疑問をもつ。	1	2	3	4	5
②冷静な態度で判断をくだす。興奮状態でものごとを決めたりすることはない。	1	2	3	4	5
③一つ二つの立場だけではなく、あらゆる立場から考慮しようとする。	1	2	3	4	5
④1つのやり方で問題が解決しないときには、いろいろなやり方を試みる。	1	2	3	4	5
⑤根拠が弱いと思える主張に対しては、他の可能性を追求する。	1	2	3	4	5
⑥自分の立場に反するものであっても、正しいことは支持する。	1	2	3	4	5
⑦問題と関係あることと無関係なことをきちんと区別できる。	1	2	3	4	5
⑧他の人があきらめても、なお答えを探し求め続ける。	1	2	3	4	5
⑨いったん決断したことは最後までやり抜く。	1	2	3	4	5

集計

「5」に○をつけた項目の番号

「1」or「2」に○をつけた項目の番号

2

(以下の解説は、ワーク1の①～⑩に対応しています。)

①知的好奇心—いろいろな問題に興味を持ち、答えを探そうとすること。

- 【例】
- ・新しいものにチャレンジするのが好きである。
 - ・いろいろな分野について、本を読み、精通している。

②客観性—何事かを決めるとき、感情や主観によらず、客観的に決めようとする。

- 【例】
- ・判断をくだす際には、義理人情よりも事実や証拠を重視する。
 - ・判断をくだす際には、自分の好みにとらわれないようにする。

③開かれた心—いろいろな立場や考え方を考慮しようとする。

- 【例】
- ・問題の良い面と悪い面の両面を見る
 - ・偏りのない判断を使用とする。

④柔軟性—自分のやり方、考え方を自在に改めることができる。

- 【例】
- ・独断的で頑固な態度にならない。
 - ・必要に応じて妥協する事もできる。

⑤知的懐疑心ー十分な証拠が出されるまでは、結論を保留すること

- 【例】 ・何事も、少しも疑わずに信じ込んだりはしない。
・確たる証拠の有無にこだわる。

⑥知的誠実さー自分と違う意見でも、正しいものは正しいと認めることができること

- 【例】 ・自分の立場に有利なものも不利なものも含めて、あらゆる根拠を求めようとする。
・自分とは別の意見を理解しようと努める。

⑦筋道立っていることーきちんとした論理を積み重ねて結論に達しようとする

- 【例】 ・論理的に議論を組み立てることができる。
・結論は根拠から直接導かれることにとどめ、無理な論理の飛躍を行わない。

⑧追求心ー決着がつくまで考え抜いたり議論したりすること

- 【例】 ・問題を解決することに一所懸命になる。
・考え得る限りすべての事実や証拠を調べる。

⑨決断力ー証拠に基づいてきちんと結論をくだすことができること

- 【例】 ・結論をくだすべき時には躊躇しない。
・根拠に基づいた行動をとる。

⑩他者の立場の尊重ー他人の方が正しい場合は、それを認めることができること

- 【例】 ・他の人の考えを尊重することができる。
・他の人が出した優れた主張や解決策を受け入れる。

解説

これらの諸特性が全般的に高い人がクリティカルな思考をできる人だといえる。このリストからもわかるように、一言で「クリティカルに思考する態度や傾向」といっても、実際にはこれほど多くの側面があるのだ。さらにいえば、この十個以外にもあげることができる。我々はこれらの様々な面において、その傾向を伸ばしていかなければならない。このリストをもとに自分自身を点検してみると、自分がどの面を重点的に改善すべきなのかがみえてくるわけである。

『クリティカルシンキング 入門編』(E. B. ゼックミスタ、J. E. ジョンソン著 宮元博章、道田泰司、谷口高士、菊池聡訳 北大路書房 2016 p 8)

2. 正しい「考え方」

課題2 (20分)

(1) ねらい

○クリティカルシンキングをはたらかせながら文章を読む。

(2) 内容（取り組むこと） ※ワーク1～3の解答欄はP7

- 1 **ワーク1**に取り組む。(個人)
- 2 **ワーク1**についてペア(グループ)としての解答を作成する。(2人ペア or 3人グループ)
- 3 先生の指示に従い、答え合わせをする。
- 4 **ワーク2**に取り組む。グループで協議した意見を発表し、意見交換する。(2ペア統合、4～5人)
- 5 **ワーク3**に取り組む。グループで協議した意見を発表し、意見交換する。(2ペア統合、4～5人)
- 6 解説を読む。

ワーク1

もし、あなたが厚生労働大臣なら、以下の特徴のある物質を規制の対象にしようと思いますか？
また、その理由は何ですか？

この物質については、以下のすべてのことが報告されています。

- ・受刑者の90%以上が、その罪を犯す以前によくこの物質を口に入れている。
- ・性犯罪事件の60%以上は、この物質を口にしてから24時間以内に起きている。
- ・この物質がよく口に入れている国内の一部の地域では、人口が大きく減少している。
- ・この物質を口にする人のほとんどが、科学的に重要な事実と意味のないデータの区別がつかない。
- ・この物質を新生児や高齢者が口に入ると、のどに詰まったり、窒息することが、多数報告されている。
- ・18世紀には、この物質は水に溶けた状態で摂取されており、その頃の平均寿命は50歳程度であり、天然痘、赤痢、コレラなどの疾病で多くの死者が出た。
- ・この物質をよく口にした子供の半数は、テストが平均点以下である。
- ・この物質はいわゆる中毒症状を引き起こすと報告されている。被験者に最初はこの物質と水を与え、後に水だけを与える実験をすると、2日もしないうちにこの物質を異常に欲する。

ワーク2

ワーク1は、間違えることが大変多いワークです。なぜ、間違えてしまったのでしょうか？考えられる理由を、箇条書きにしてください。答えは一つではありません。

ワーク3

「ミスリードを誘発するような情報」や「インチキくさい情報」にだまされないようにするためには、どうしたら良いのでしょうか？箇条書きにしてください。答えは一つではありません。

解説

単に直感だけで判断せず、クリティカルシンキングをしっかりと行うことが大切です。クリティカルシンキングとは、簡単に言えば、物事を正しい方法で正しいレベルまで考えることです（グロービス2005）。日常生活やビジネスにおいて、正しい方法で正しいレベルまで考えることは、極めて重要です。

では、「正しい」とは具体的にどうすればよいのでしょうか。もう少し詳しい定義をみてみましょう。クリティカルシンキングとは、先入観に囚われず、論理的に考え、合理的な決定を導き出す能力と意思（若山 2009）とされています。この場合、先入観に囚われない練習が必要です。普段から「それって、ホント？ なぜ、本当？」と、問い続けるアクションを実行してみてください。

『誰でもわかるクリティカルシンキング』（若山昇著 北樹出版 2016 p 23 一部改）

ワーク1

あなたが厚生労働大臣なら、P 5 の特徴のある物質を規制の対象にしようと思うか？
また、その理由は何か？

【個人】

規制の対象にしようと思う ・ 思わない (いずれかに○)

《理由》

【ペア or グループ】

規制の対象にしようと思う ・ 思わない (いずれかに○)

《理由》

ワーク2

なぜ間違ってしまったのか。(箇条書き)

ワーク3

間違わないためにはどうしたら良いか。(箇条書き)

3. 隠れた前提

課題3 (20分)

(1) ねらい

- 「隠れた前提」を意識することにより、誰もが納得できる文章を作成することの重要性を理解する。

(2) 内容

- 1 ワーク1に取り組む。(各自)
- 2 ワーク1についてペア(グループ)としての解答を作成する。(2人ペア or 3人グループ)
- 3 先生の指示に従い、答え合わせをする。
- 5 ワーク2に取り組む。グループで協議した意見を発表し、意見交換する。(2ペア統合、4～5人)
- 6 ワーク3に取り組む。グループで協議した意見を発表し、意見交換する。(2ペア統合、4～5人)
- 7 解説を読む。

ワーク1

「日本人は、みな英語が苦手だ」(大前提)



「田中さんは、日本人だ」(小前提)



したがって「田中さんは、英語が苦手だ」(結論)

この論理展開では、正しい結論が導かれているでしょうか？

その理由も自分の言葉で説明して下さい。

ワーク2

ワーク1では、なぜ正しいとはいえない結論に至るのでしょうか？

隠れた前提が正しくないことにより誤解や誤った結論を導くことは推論の罠です。

この罠に陥らないようにするためには、理解を深める必要があります。

理解を深めるために次のワークにチャレンジしてみましょう。

ワーク3

- ①あなたの日常の身のまわりのことで、隠れた前提（大前提）が正しくないことによる推論の罣の例を、できるだけあげてみて下さい。
- ②その際の隠れた前提は何でしょうか？
- ③また、隠れた前提（大前提）を修正した場合には、その前提と結論はどうなるのか？

『誰でもわかるクリティカルシンキング』（若山昇著 北樹出版 2016 p68）

解説

「隠れた前提」とは・・・明確に書かれていないが、暗黙に考えられている前提のこと。

日常会話 →暗黙に理解されているようなことは、省略されることが多い。

論理的な文章 →論証に「隠れた前提」が含まれていると、

書き手と読み手で認識にずれが生じてしまったとき、誤解を招くことがある。

誰もが納得できる文章のためには、どこまで前提を丁寧に述べるべきか、見極める必要がある。

「隠れた前提」を共有できるかどうか、すなわち省略してもよいかどうかは相手によって変わる。

論文では、「これくらい相手が理解してくれるだろう」ということに甘えず、誤解を招くような「隠れた前提」が含まれていないかどうか、常に意識しておく必要がある。

『Summa 2015 年度探究基礎 授業資料集』（京都市立堀川高等学校 2015 p 57）

ワーク1 P 8 の論理展開では、正しい結論が導かれているか？ またその理由は何か？

【個人】

正しい結論が導かれて いる ・ いない (いずれかに○)

《理由》

【ペア or グループ】

正しい結論が導かれて いる ・ いない (いずれかに○)

《理由》

ワーク2

ワーク3

4.【ワーク】クリティカルシンキング演習

課題4 (20分)

(1) ねらい

- ワークを繰り返し、クリティカルシンキングを働かせながら読むことに慣れ、その重要性を自覚する。
- グループで知恵を寄せ合うことで、より連想が広がっていくことを体感する。

(2) 内容

- 1 **ワーク1** ～ **ワーク4** に取り組む。(2人ペア or 3人グループ)
- 2 ペア(グループ)としての解答を作成する。(2人ペア or 3人グループ)
- 3 **ワーク1** ～ **ワーク4** について 2 で協議した意見を発表し、意見交換する。(2ペア統合、4～5人)

これまで学んだことを踏まえ、次の文章の内容についてクリティカルシンキングを行いましょう。

ワーク1 ～ **ワーク4** の文章をよみ、論理展開が正しくない点を具体的に複数あげ、箇条書きで表記してください。

ワーク1

大学の授業でもベストな時間帯があると思います。学生にとっても、教員にとってもベストの時間帯は2限ではないでしょうか。1限は朝イチで眠く(遅刻者でたびたび授業が中断されるのもマイナス要因)、3限はお昼を食べた後で眠い。それらに比べたら2限は目も覚めているし、4限や5限に比べたらまだ一日の疲れもたまっていません。実際に、筆者は全く同一内容の授業を同じ曜日の1, 2限に開講したことがあります。半期の授業が終わって、授業評価アンケート結果を見ると、2限の方が評価は高かったのです。さらに、2限のクラスの方が試験成績もよかったです(試験は2クラス同じ時間に実施しました)。1限の方が受講者数も少なく(1限80名、2限110名位)、むしろ授業環境はよかったはずなので、これは興味深い結果でした。というわけで、授業するなら2限だな、と思っています。ただし、2限でも授業を延長したりするとお腹が空いた学生から不満が出ることもあります。

この文章に書かれた内容について、クリティカルシンキングをおこなってください。

ワーク2

○ 大学教育学部では、学部 3 年生の時に 4 週間の附属小学校での教育実習（主免実習）、学部 4 年生で 1 週間の公立小学校での教育実習（応用実習）があります。主免実習は学生全員が必修で参加するものですが、応用実習は希望者のみが参加します。応用実習への学生の参加を促すため、次のようなアナウンスがなされました。

「昨年度、応用実習に参加した学生の 80% が教員採用試験に合格しています。応用実習に参加することは教員採用試験の合格へつながりますので、皆さん、応用実習に参加しましょう」

このアナウンスについて、クリティカルシンキングをおこなって下さい。

ワーク3

よしことまゆみが会話をしています。

よしこ：「卒業指導を受けてきたよ。」

まゆみ：「どうだった？」

よしこ：「山林先生、すごい機嫌が悪かった。今日のゼミの報告についてもダメ出しばかりだったし……。私、嫌われているんだよ、きっと」

このよしこの発言について、クリティカルシンキングをおこなって下さい。

ワーク4

あるテレビ番組で次のようなアンケート結果が紹介されました。

「娘から嫌われていると思っている父親の割合」：75%

「父親を尊敬していると応えた娘の割合」：90%

アナウンサーはこの結果をもとに「お父さんたちが思っているほど娘さんからは嫌われていない、それどころか尊敬されている」と言いました。

このアンケート結果とアナウンサーのコメントについてクリティカルシンキングをおこなってください。

『大学生のためのリサーチリテラシー入門』（山田剛史、林創著 ミネルヴァ書房 2011 p 197～198）

ワーク1

ワーク2

ワーク3

ワーク4



振り返り 〈リフレクションシートの記入及び回収〉

読解力 リフレクションシート

年		組		番号		氏名	
---	--	---	--	----	--	----	--

1 日時： _____月_____日（ ） _____校時

2 振り返り

Q 1 : クリティカルシンキングするときに留意すべきポイントをあげてください。

--

Q 2 : 論文を書く際に注意しなければならない「隠れた前提」とは何か？説明してください。

--

以下、該当する番号のマークを塗りつぶしてください。

Q3 クリティカルシンキングのワークにあなたはどのように関わりましたか。 ①積極的にできた ②まあまあ取り組めた ③うまく参加できなかった	①	②	③			●
Q4 今回の授業の難易度はどうでしたか。 ①易しかった ②ちょうど良かった ③難しかった	①	②	③			●
Q5 今回の授業の時間設定はどうでしたか。 ①時間が余ってしまった ②ちょうどよかった ③時間が足りなかった	①	②	③			●



今回の授業の位置づけ

- 探究活動を進めていくにあたり、その最初の段階で必要とされる過程は「課題発見」である。その際に求められる力のひとつが「読解力」である。「読解力」は探究活動に着手した後も随時必要とされ、常に求められる基礎能力である。
- 「課題発見」、「データ分析」などの過程では学術的文章を読み込み、検証していくこととなる。そこでは著者が何を根拠にして、何を主張しようとしているのか、主張と根拠の間に飛躍はないかなど、クリティカルシンキング（批判的思考）を働かせながら読む力が求められる。
- その際に求められる「読解力」を、今回の授業では複数のワークに取り組むことをとおしてトレーニングすることとする。

ねらい

- 文章を「納得できるものであるか」という観点から読解し、その論証を吟味する方法を理解する。（クリティカルシンキングを働かせながら読む力を養う）。
- ワークを通してクリティカルシンキングについて理解する。
- 「隠れた前提」を意識し、誰もが納得できる文章を心がける習慣を身につける。

時間	ねらい・内容・留意点
課題 1 (30 分)	ねらい ○授業の位置づけを理解する。 ※最初に「今回の授業の位置づけ」と「ねらい」を精読させ、理解させてください。 ○クリティカルシンキングの意味を理解する。 ○自分自身のクリティカルシンキングの特性について自己判断する。 内容 ※先生はタイムキーパーとなり、ワークに取り組ませてください。 ※時間はあくまでも目安です。実際の生徒の動きをみながら、柔軟に対応してください。 1 [1]を各自で読み、「クリティカルシンキング」の意味を理解する。 ※生徒の活動が緩慢（居眠り等）になり精読させるのが難しいようであれば、代表者に読ませたり、「クリティカルシンキングについて説明している部分に下線を引きながら読みなさい」等の指示を与えながら、生徒の実態にあわせて柔軟に対応してください。 2 [ワーク1]の 10 個の特性について、自身がどれくらいあてはまるか数値で評価する。 それぞれの項目に対して、「まさにあてはまる」なら5、「まったくあてはまらない」なら1として、5段階評価する。 3 それぞれの特性の意味や具体的行動パターンについて、[2]を読み確認する。 ※[ワーク1]はクリティカルシンキングの特性をどの程度身につけているかを確認するものです。 先生は生徒の様子をみながら、タイムキーパーをお願いします。

	※課題1のまとめとして、必要に応じてコメントしてあげてください。下記はコメント例です。ご参照ください。 【コメント例】 クリティカルな思考をする人に特徴的な態度や技術は、程度の問題である。それをまったく持っていない人はいないし、逆に、もはや改善の余地がないほどに完成している人もいない。 もしあなたが「5」と答えた質問が10問中5, 6個以上であるなら、「自信過剰」の傾向があるかもしれない。 この問題の目的は、まずあなた自身のクリティカルな思考について、クリティカルに考えることからはじめてもらいたかったわけである。 あなたが1か2に○を付けた事柄こそあなたがこれから念頭において、意識的に習慣づけるべき点なのである。
課題2 (20 分)	ねらい ○クリティカルシンキングをはたらかせながら、文章を正しく読むことを意識する。 内容 1 原則2人のグループをつくる。 2 ワーク1に各自で取り組む。 ※先生は生徒の様子を見ながら、状況に応じて次の3の指示をお願いします。 3 2の内容をグループ内で発表し合い、共通点と相違点をふまえて協議の上、ワーク1についてグループとしての解答を作成する。 4 先生の指示に従い、答え合わせをする。 ※いくつかのグループに発表させてから、ワーク1の解答を提示してください。 5 ワーク2グループで取り組む。グループで協議した意見を発表し、意見交換する。(数グループ)。 ※いくつかのグループに発表させてください。 6 ワーク3グループで取り組む。グループで協議した意見を発表し、意見交換する。(数グループ)。 ※いくつかのグループに発表させてください。 7 解説を読み、正しい考え方について理解を深める。 【解答例】 ワーク1 すぐに規制することはしない。なぜなら、この物質は「ご飯」かもしれないから。 ワーク2 ・既成概念に囚われていたから。 ・有害な物質、危ないものだと、思い込んでいたから。 ・与えられた情報が、意図的、片務的だったから。 ・正解にたどり着くには広い知識が必要だから。 ・思い込むと、正確に判断できなくなるから。(信念バイアス)

	ワーク3 ・世間一般に流布されていることに流されない。 ・思い込まない。 ・情報を鵜呑みにしない。 ・与えられた情報は中立ではなく、偏りがあるものだ、と考える。 ・正解にたどり着くために広い知識を身につける。 ・信念バイアスの存在を意識する。 ・直感で考えず、じっくり考える。 ・断定的なものの言い方に注意をはらう。
課題 3 (20 分)	ねらい ○「隠れた前提」を意識することにより、誰もが納得できる文章を作成することの重要性を理解する 内容 1 原則2人のグループをつくる。 2 ワーク1に各自で取り組む。 ※先生は生徒の様子を見ながら、状況に応じて次の3の指示をお願いします。 3 2の内容をグループ内で発表し合い共通点と相違点をふまえつつ協議の上、ワーク1についてグループとしての解答を作成する。 4 答え合わせをする。 ※いくつかのグループに発表させてから、ワーク1の解答を提示してください。 5 ワーク2グループで取り組む。グループで協議した意見を発表し、意見交換する(数グループ)。 ※いくつかのグループに発表させてください。 6 ワーク3グループで取り組む。グループで協議した意見を発表し、意見交換する(数グループ)。 ※ワーク3は難しいと思うので、様子をみながら進めてください 生徒が行き詰るようなら、解答例をひとつ提示し、着想のきっかけを与えてください。 7 解説を読み、隠れた前提」による推論の罠に陥らないために、クリティカルシンキングの重要性について理解を深める。 【解答例】 ワーク1 正しいとはいいきれない。なぜなら、日本人だからという理由だけで、田中さんが英語が苦手とはいえないから。 ワーク2 隠れた前提(大前提)が存在し、その隠れた前提(大前提)が正しいとはいいきれないため、結論が正しいとはいいきれなくなっているから。 ※ワーク2のまとめとして、必要に応じてコメントしてあげてください。下記はコメント例です。ご参

	照ください。 【コメント例】 「日本人は、みな英語が苦手だ」という大前提について考えます。確かに日本で生まれ育った人にとって、英語は学校で学ぶ外国語であり、子供の頃から日常生活で使ってきた人は少ないでしょう。ですから、日本人で英語が苦手な人は多いでしょう。しかし、日本人がみな英語が苦手なわけではありません。親が英語を日常的に話していたり、英語圏で生まれ育ったりした日本人も多くいます。したがって「日本人は、みな英語が苦手だ」という大前提が正しいとは言えません。やはり、取り入れた情報が間違っていれば結論は間違ってしまう。 ワーク3 例①「A 君は理系だ。したがって、A 君は数学ができる。」 隠れた前提:理系の人は数学ができる。 隠れた前提を修正した場合:理系の人は数学ができる人が多い 結論:A 君は数学ができる可能性もあるが、そうでない可能性もある。なお、理系でも生物専攻や受験で数学をとらなかった人もいる。 例②「B 君は徳島の人だ。したがって B 君は阿波踊りが上手い」 隠れた前提:徳島の人は阿波踊りが上手い。 隠れた前提を修正した場合:徳島の人は阿波踊りが上手い人が多い。 結論:B 君は阿波踊りが旨い可能性が高いが、そうでない可能性もある。なお、例えば先月に徳島に引っ越した人は、必ずしも上手くないだろう。
課題 4 (20 分)	ねらい ○ワークを繰り返し、クリティカルシンキングを働かせながら読むことに慣れ、その重要性を自覚する。 ○グループで知恵を寄せ合うことで、より連想が広がっていくことを体感する。 内容 1 原則2人のグループをつくる。 2 ワーク1から順に、グループで取り組む。 3 グループ内で協議の上、ワーク1から順にグループとしての解答を作成する。 4 「ワーク1」～「ワーク4」についてグループで協議した意見を発表し、意見交換する(数グループ)。 ※いくつかのグループに発表させてください。 【解答例】 ワーク1 ・授業評価アンケート結果や試験成績に差があったといっても、差はそれほど大きくなく、単なる誤差にすぎないかもしれない。 ・1限と2限という開講時間帯が原因ではなく、たまたま2限に授業評価アンケートをよく評

	価し、試験成績もよい学生が集まっていただけかもしれない。 ・1, 2限で同じ授業内容を扱っているので、2限では1限で一度講義した内容をもう一度授業することになる。そのことで、受講生が難しいと感じるところを把握することができたり、ポイントを強調して伝えられたりするなど1限の授業が2限のリハーサルのようになったために、2限の方が授業の質がよかったのかもしれない。 ・2回目の授業になって、担当教員ののどの調子がよくなって、授業が2限の方が聞き取りやすかったのかもしれない。 ・担当教員が「2限のクラスの方が真面目で受講態度がよい」と思い込んでいるのかもしれない。 そのことが担当教員の授業をする態度や、授業中の学生への言葉に表れてしまっていて、それを受講生が敏感に感じ取っているのかもしれない。ピグマリオン効果の一種かもしれない。 ワーク2 ・応用実習に参加しなかった学生の教員採用試験合格率が示されていないので、80%という数値を評価できない。応用実習に参加しなかった学生の合格率は90%だったかもしれない。 ・応用実習に参加しようとする学生は、そもそも教員になるモチベーションが高く、応用実習に参加したことが教員採用試験の合格の要因となったわけではなく、教員採用試験に合格するような学生は、いろいろなことに興味を持ち積極的に取り組んでいる（だから応用実習にも参加する）という結果の表れなのかもしれない。 ワーク3 ・山林先生は、この日たまたま家庭で嫌なことがあり、機嫌が悪かっただけかもしれない。 ・機嫌が悪かったというのは、よしこの思い込みで、山林先生はいつもどおりだったかもしれない。よしこが被害的に感じてしまったのかも。 ワーク4 ・お父さんには「嫌われていると思っているか」を尋ね、娘には「尊敬しているか」を尋ねていて、聞いていることが違うので直接比較できない。 ・調査対象がはっきりしていない。親子に聞いたわけではなさそう。父親がイメージする娘は思春期の娘なのに、アンケートに答えた女性はOLなど成人している人かも。 ・街角で「父親を尊敬していますか」と質問されて、「尊敬していません」と答えられるだろうか。社会的に望ましい回答をしてしまいがちかも。 ・オフィス街などでインタビューをしていたとしたら。上司が父親としての意見を、部下が娘としての意見を回答していたらどうなるか。上司の目の前で「父親を尊敬していますか」と聞かれたら、多くの場合は、尊敬していると答えるのではないだろうか。
振り返り (10 分)	内容 ○リフレクションシートに各自、記入する。